

〈事務局報告〉

1. 平成 21 年度 前期理事会および ALL About SWINE 編集委員会

平成 21 年 6 月 26 日 (金) 午前 東京大学 山上会館 会議室にて理事会を開催した。

出席者；波岡茂郎，赤池洋二，井上忠恕，相馬由和，名越仁宣，浅井鉄夫，櫻井 忠，山岸和重，家入誠二，小林秀樹，三宅真佐男，高橋吉男，齊藤政宏，鈴木隆春，中根 崇，鈴木悟郎
小林一彦 (事務局)

審議事項 ①平成 20 年度事業報告と決算，②平成 21 年度事業計画予算案，③理事変更について討議されそれぞれ理事会で承認した。すなわち 21 年度事業で当会ホームページを作成すること，その為の予算を計上すること，日本 SPF 豚協会にはこれまでの特別会員から賛助会員として引き続きご支援を頂くこと，また鹿又理事 (改良センター)，関理事 (静岡県)，神山理事 (千葉県)，林理事 (全農) の退任申し出を受け，齊藤政宏氏，鈴木隆春氏，中根 崇氏，鈴木悟郎氏の就任を承認した。

第 20 回研究会講演内容について検討され，次回定期理事会でさらに詳細を詰めることとされた。理事会後開催された編集委員会では 35 号および 36 号の内容について検討された。

2. 平成 21 年度 定期総会

平成 21 年 6 月 26 日 (金) 午後 東京大学 山上会館 大会議室にて定期総会を開催した。

名越副会長を議長に選出し，平成 20 年度事業報告，同年度決算報告，平成 21 年度事業計画・

予算案および理事変更について事務局の説明に基づき審議され，いずれも理事会の原案通り承認された。

1) 平成 20 年度事業報告

前期定期理事会を平成 20 年 6 月 27 日東大山上会館で開催。「日本 SPF 豚協会年次報告 (2007 年度)」，「養豚生産における I C タグ，オートソーティングおよびトレーサビリティの連動」，「オーエスキー病防疫対策要領の改正について」，「家畜改良センター茨城牧場における A D 清浄化事例」，「S P F 豚認定農場における A D 清浄化例」の 5 題の講演が行われた。

平成 20 年 10 月 24 日 後期定期理事会を開催。

平成 20 年 9 月と平成 21 年 2 月に All About SWINE 33 号，34 号を刊行した。

2) 平成 20 年度会計報告 (別表参照)

3) 平成 21 年度事業計画

平成 21 年 6 月 26 日午前 前期理事会開催，同日午後 定期総会，研究会を同場所にて開催。10 月 後期理事会開催予定。

9 月および翌年 2 月に All About Swine 35 号，36 号を刊行予定。

当会のホームページを作り，会誌の閲覧や研究会の案内など広報の場をつくる。

4) 平成 21 年度予算案 (別表参照)

5) 理事変更

退任；鹿又理事 (改良センター)，関理事 (静岡県)，神山理事 (千葉県)，林理事 (全農)
新任；齊藤政宏氏，鈴木隆春氏，中根 崇氏，鈴木悟郎氏

3. 第19回日本SPF豚研究会講演内容

以下5題の講演を行った。参加者約70名。

- ①日本SPF豚協会年次報告(2008年度) 日本SPF豚協会 藤田世秀氏, ②食用以外に利用される豚について(財日生研 齋藤敏樹氏), ③アニマルウェルフェアの考え方に対応

した豚の飼養管理指針について 農水省 菅谷公平氏, ④アニマルウェルフェアから観たブタの行動と快適な飼育環境 茨城大学 小針大助氏

本講演の内容はAll About SWINE 35号に掲載予定。 /以上

平成20年度決算報告書

日本SPF豚研究会
平成21年6月26日

	20年度予算額(円)	20年度決算額(円)	備考
(収入の部)			
前年度繰越分	898,158	898,158	
会費正会員	500,000	432,000	
会費賛助会員	180,000	180,000	9社
会費特別会員	100,000	100,000	日本SPF豚協会
広告料	700,000	681,188	AAS 32, 33号分
預金利息	0	27	
雑収入	10,000	24,000	研究会参加費
収入合計	2,388,158	2,315,373	
(支出の部)			
会誌原稿料	300,000	201,600	AAS 33, 34号分
会誌編集料	120,000	120,000	同
会誌印刷代・送料	500,000	534,045	同
講演会謝礼	60,000	20,000	1名
研究会開催費	120,000	81,520	施設使用料, お茶ほか
会議費	90,000	67,466	施設使用料, 弁当代など
通信費	35,000	28,690	切手, 現金書留など
事務費	40,000	10,987	コピー代, ラベル代
APVS 2009 準備金	50,000	50,000	
雑費	10,000	10,505	振込手数料, 懇親会不足補助など
予備費	490,405	0	
(支出小計)	1,815,405	1,124,813	
次年度繰越金	572,753	1,190,560	
支出合計	2,388,158	2,315,373	

*研究会開催基金として1,500千円を別会計とする。
会計監査の結果収支が適正であったことを認めます。
平成21年5月22日

監査 高橋 吉男 

上記以外に未収金として ¥460,688 - (2月発行 AAS 34号分広告料) があります。

平成 21 年度予算

日本 S P F 豚研究会
平成 21 年 6 月 26 日

	21 年度予算額 (円)	備 考
(収入の部)		
前 年 度 繰 越 分	1,190,560	
会 費 正 会 員	500,000	250 名
会 費 賛 助 会 員	200,000	10 社
広 告 料	700,000	AAS 34, 35 号分
利 息	10	
雑 収 入	10,000	
収入合計	2,600,570	
(支出の部)		
会 誌 原 稿 料	300,000	AAS 35, 36 号分
会 誌 編 集 料	120,000	同
会 誌 印 刷 代・送 料	600,000	同
講 演 会 謝 礼	60,000	
研 究 会 開 催 費	120,000	第 19 回研究会
会 議 費	90,000	
通 信 費	35,000	
事 務 費	40,000	
ホ ー ム ペ ー ジ 作 成 費	300,000	PC, プロバイダー契約料など
雑 費	10,000	
予 備 費	925,570	
(支出小計)	2,600,570	
次年度繰越金	0	
支出合計	2,600,570	

* 研究会開催基金として 1,500 千円を別会計とする。

* 科目間の流用を認める。

〈日本 SPF 豚研究会誌〉

「All about SWINE」投稿のお願い

SPF 豚の普及に役立つ調査・研究論文および防疫、飼養、流通、消費等に関する解説・資料等の原稿を募集しております。下記要領にご留意の上、ご投稿下さい。

1. 原稿は原則としてワープロを使用してA4用紙に横書きで作成して下さい。手書きの場合は、400字詰原稿用紙を使用して下さい。
2. 原稿の1枚目には表題（英文表題も併記）、投稿者名（ローマ字表記も併記）、所属機関名（郵便番号および住所）を記して下さい。2枚目以降の記述形式は特に定めませんが、資料等を引用した場合は末尾に「参考資料」または「引用文献」の項目を設けて下さい。
3. 表は原則として縦罫線を使用せず簡潔なものとし、また図はそのまま印刷が可能なように白色紙または方眼紙に黒色で記入して下さい。写真は原寸印刷が可能なように原則として横7cm程度、縦7cm以下として下さい。
4. 原稿の送付先は当分の間「〒305-0856 つくば市観音台3-1-5 独立行政法人・動物衛生研究所 小林秀樹」までお願いします。

〔編集後記〕

生物発光というのをご存じだろうか。蛍の名前のつく生物、ホタル、ホタルイカ、ウミボタル…。これらの生物は体内のエネルギーをほぼ全て光エネルギーに変換することが出来る。国内の大手メーカーでは熱や音をできるだけ出さない発光機器を研究開発しているが生物発光のような効率的エネルギー変換には遠く及ばないようだ。家電製品の場合には長寿命とコストが求められるので生

物発光のようにはいかないだろうが、こんなところにも研究のヒントがあるかもしれない。

一方、生物発光は各種生物学の先端診断技術としてかなり応用されている。放射性同位元素の代わりに使われたり、医療の診断法にも使われたりしてその需要は増えており、現在では人工的にそれらの基となる物質が作られている。かつては旧日本陸軍が密林での野戦を目的とし極秘事項として乾燥ウミボタルの研究を真剣に実施したこともあるそうだが平和的かつ庶民生活に役立つなら一層の研究を望みたい。本当に小さな生物なのに大きな可能性を秘めている。

いずれにしても、エネルギーの効率的使用は地球のために優しく（というか人間のためだけだと思うが）温暖化防止としてまず心がけなければならないことである。さて私のように体に未来の化石燃料を蓄積していくのも地球に優しいのだろうか。

（小林）

「All about SWINE」

第35号 2009年9月発行 定価1,500円

発行者 井上 忠 恕

編集者 小 林 秀 樹

発行所 日本 S P F 豚 研 究 会

事務局 (株)伊藤忠飼料研究所

予防衛生チーム内

〒325-0103

栃木県那須塩原市青木 919

Tel : 0287 (64) 3652

Fax : 0287 (63) 8384